

---

# 山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター

## センターだより 第136号(通巻第203号)

---

2015年6月1日 発行  
山梨大学教育人間科学部  
附属教育実践総合センター  
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790  
E-mail: jissen@ml.yamanashi.ac.jp  
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

### ■教育実習に対する支援の試み

＜教育実習生のためのメンタルサポート＞

実習中に精神的な悩みが深刻になってしまったり、適応が困難になってしまったりした学生に対するメンタルサポートとして、臨床心理士等のカウンセリングの専門家による相談を行う予定です。期日は附属学校園の教育実習中を基本としますが、詳細はCNSに掲示します。

### ■「地域連携子どもと親と教師のための教育相談」

相談スタッフを募集します。学部の先生方には、専門領域に関する教師からの相談に応じていただきます。まだ登録をされていない先生方は是非、ご協力をお願いします。新規登録や相談日時の変更等は教育実践総合センター事務室まで電話、メールなどでお申し出ください。

### ■教育相談室に関するお知らせ

「教育相談室（L-428）」及び相談室の備品をどうぞご利用ください。

「教育相談室」のご利用に際しましては、事前に附属教育実践総合センター事務室（J号館4F）にて空き状況を確認の上、ご予約ください。火曜日は附属教育実践総合センターが優先的に使用させていただきます。鍵はJ号館1階支援課にあります。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品も貸し出しております。借りる際には必ず使用ノートにご記入をお願いします。

### ■「平成27年度期間採用者等研修」の報告

平成27年度期間採用者等研修を、5月23日（土）に実施しました。当日は、小・中・高校の期間採用の先生方と学生合わせて114名が参加しました。

内容は教科に関する研修として、【研修1】「児童・生徒をひきつける授業の工夫」に関する講義を小・中・高校の3部会に分かれて実施しました。また、学級経営に関する研修として【研修2】「児童・生徒理解と学級・ホームルームづくりのヒント」に関する講義を同様に3部会に分かれて実施しました。

この2つの研修では、授業を進める上でのポイントや児童生徒へのかかわり方のポイントなど、日常の授業や学級経営に役立つ内容について、県内でご活躍の現場の教頭先生方から具体的なお話を伺うこ

とができました。

午後の研修では、教職に関する特別研修として文章力（作文）と言語表現力（面接・集団討議・模擬授業）に関する【研修A】と、教職に役立つ教育法規・制度の知識に関する【研修B】を開催しました。

【研修A】については54名の方の参加があり、面接や模擬授業などの演習が行われ、真剣な表情で体験する受講者の姿が印象的でした。また【研修B】は学生の参加も含め41名の方の参加があり、講師の先生に教育法規のポイントをわかりやすくお話しいただきました。

参加者からは、「講師の先生のお話がとても分かりやすく、現場の様子とからめてくださりとても興味をもって聞くことができました」、「面接対策、大変参考になりました」、「一日を通して、自分自身のためになり、今後に生かします」など前向きな評価を多くの方からいただきました。



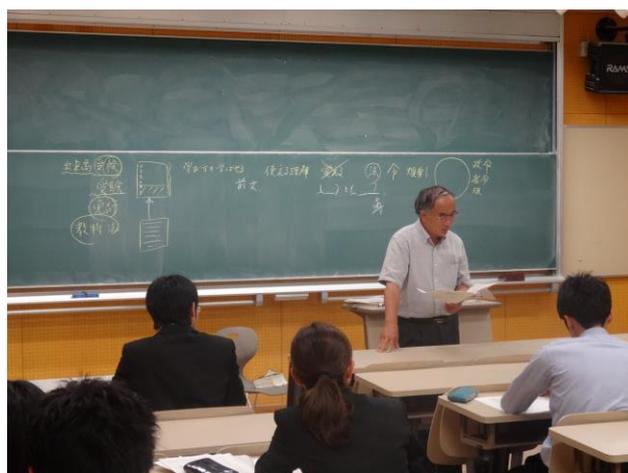
研修1：高校部会の様子



研修2：中学校部会の様子



研修A：集団討議で意見を出し合う受講者



研修B：教育法規の講義を受ける受講者

参考までに受講者のアンケート結果の一部を掲載します。

アンケート（期間採用者等研修を終えて） 94名が回答

1 あなたの所属は？

- ①小学校 39 ②中学校 27 ③高等学校 22 ④特別支援学校 2 ⑤学生 2
- ⑥その他（養護教諭 1, 無回答 1)

2 研修を受けた校種は？

- ①小学校 41 ②中学校 21 ③高等学校 22 ④特別研修（A 44・B 32）

3 期間採用等の臨時的任用年数について教えてください。

①1～2年 72 ②3～5年 16 ③6～9年 4 ④10年以上 0 (学生2名)

4 研修を何によって知りましたか？(複数回答可)

①所属校に送られた山梨大学からの文書 85 ②同僚等からの口コミ 9 ③山梨大学のホームページ 2  
④大学の授業内 0 ⑤その他 0

5 この研修を受講されるのは今回で何回目ですか？

①1回目 63 ②2回目 22 ③3回目 4 ④4回目以上 2

6 研修の内容はいかがでしたか？

(ア) 研修1 (参考になった74・どちらとも言えない5・あまり参考にならなかった1)

(イ) 研修2 (参考になった76・どちらとも言えない4・あまり参考にならなかった0)

(ウ) 特別研修 (参考になった69・どちらとも言えない4・あまり参考にならなかった0)

7 研修の時期として5月実施はどうでしたか。

①よい 78 ②よくない 16 (希望する時期：3・4月下旬，5月初・中旬，6～7月 など)

8 今後研修で希望される内容を3つ選択してください。

①教科等の指導 51 ②学級経営 51 ③公務員の服務 5 ④生徒指導 40 ⑤教育相談 19  
⑥採用試験対策 65 ⑦グループ討議 24 ⑧ その他(部活動の指導，特別支援教育の教科指導)

## ■平成27年度山梨大学の戦略・公募プロジェクトに「山梨大学教師塾プログラム」が採択されました

5月13日，平成27年度の山梨大学の戦略・公募プロジェクトの審査結果が公表され，附属教育実践総合センターが中心となって申請していた「山梨大学教師塾プログラム」が採択されました。プロジェクト期間は平成27～30年度の4年間(初年度：1,997千円，期間総額：7,440千円)で，以下の①～③の新規事業を通して，教師としての授業力や専門性を高め，学生が教師になるための支援を行って参ります。①学生の授業力養成講座の運営と実施，②教育実習メンタルサポートの運営と実施，及び③学校サポーターの運営と実施。

関係の諸機関，並びに先生方には倍旧のご支援とご協力が賜れますよう宜しくお願い申し上げます。

---

これまでのセンターだよりの一部は， <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/centerdayori.html> で見ることができます。